

神奈川県議会議員 たかはし 栄一郎



かながわ自民党 子育て議員の 県政レポート

発行所
たかはし栄一郎事務所
横浜市保土ヶ谷区川辺町6星川プラザマンション1F
電話:045-337-1234 <http://takahashi.eco.to>

暖かな季節となり、卒業式や入学式など様々な出会いと旅立ちの時期です。毎年、区内の県立高校を中心に出席させていただきますが、式に臨む子供達の顔をみると、どのお子さんも緊張の中にもきらきらと輝かしい希望と未来が光っています。

神奈川県も平成29年度当初予算が決定し新年度がスタートしました。広域自治体として取り組まなければならない課題は様々ありますが、子供達が大人になった時に「神奈川に住んでいて良かった」と誇れるように、誰もが安心して住み続けられる豊かで活力ある神奈川県の為に頑張っています。

今回は、平成29年度当初予算の概要と重点的な取組みについてご報告いたします。

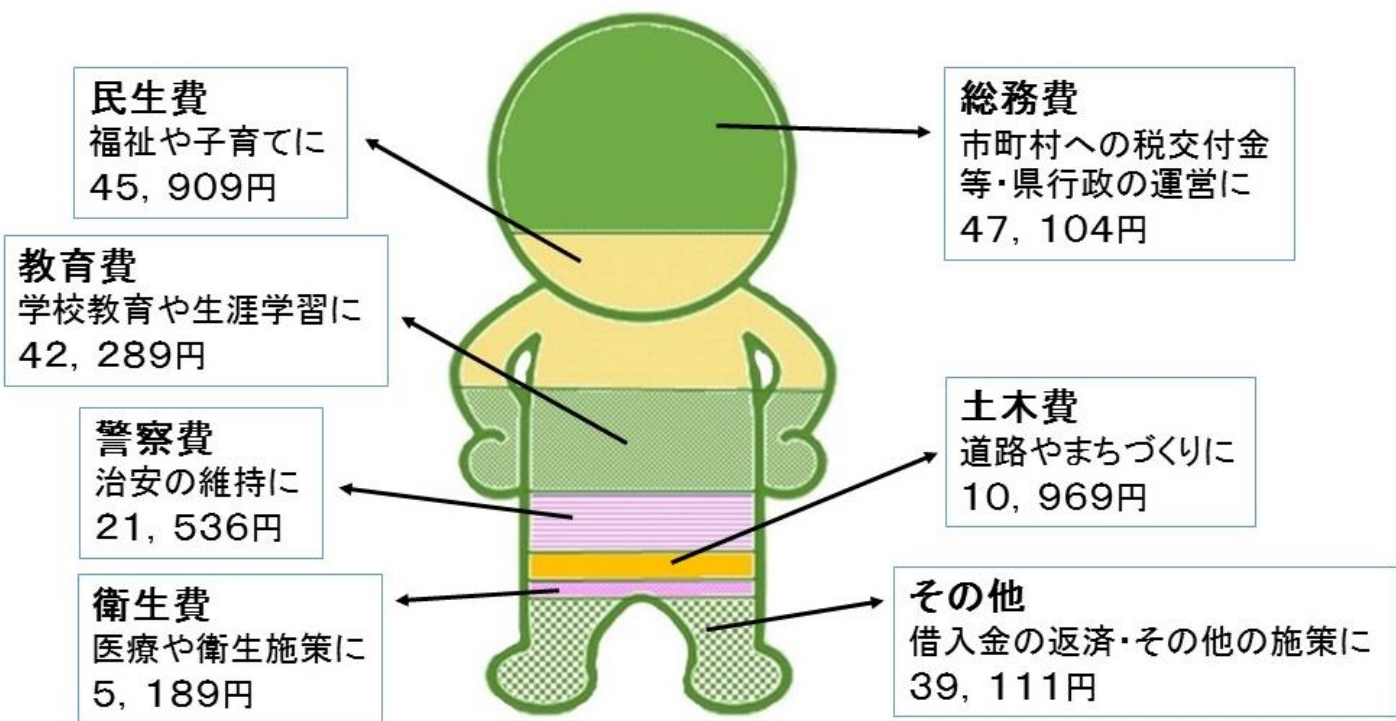
平成29年度神奈川県予算が決定しました

平成29年度は、県税の減収が見込まれる厳しい財政状況ですが、財政調整基金を取り崩すなどの対応を行い、子供や子育てへの支援等、全ての人が笑顔で安心して暮らせる社会の実現を目指すための予算を編成しました。



一般会計予算 1兆9,402億円

県民1人当たりでは 212,107円



人口 9,147,400人 (平成29年1月1日現在 神奈川県人口統計調査)

重点的な取り組み①健康長寿



＜オーラルフレイル対策の取り組み＞

オーラルフレイルとは歯や口の機能が低下した状態のことで、ご近所の方との付き合いや、誰かと一緒に食事をする等といった“社会性”、“バランスの良い食事と歯・口の定期的な管理”、“運動”の要素が欠如することによって起こるといわれています。オーラルフレイルが進行すると全身疾患や身体機能の低下につながるとされ、高齢者の口腔機能の虚弱化(オーラルフレイル)対策として「8020運動」に代わって2015年から提唱され始めた新しい考え方です。

本県では健康長寿社会実現に向けライフステージに応じた未病改善の取り組みを進めており、高齢者の口腔機能の虚弱化(オーラルフレイル)の未病対策として、改善プログラムの作成・実施・検証を行うとともに、オーラルフレイルの認知度を高めるため、医療・介護・の現場関係者向けハンドブックの作成や、デジタルサイネージによる県民への普及啓発事業を行います。(1,090万円)

フレイル(虚弱)の進み方

第1段階	第2段階 オーラルフレイル	第3段階	第4段階
<ul style="list-style-type: none"> 歯の喪失 口周りの健康への関心低下 活動量の低下 社会生活の広がりの低下 	<ul style="list-style-type: none"> 滑舌の低下 食べこぼし、むせ かめない食べ物が增える 食欲の低下 食品の偏り 	<ul style="list-style-type: none"> かむ力の低下 舌の動きの悪化 食べる量の低下 筋力・筋肉量の低下 低栄養 代謝の低下 	<ul style="list-style-type: none"> のみ込み障害 かむ機能の不全 虚弱 運動・栄養障害 要介護

生活の質が徐々に低下 → 疾患や薬が徐々に増加

＜高齢者スポーツ費＞

「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の高齢者を中心とするゲートボールや卓球、テニスなどの各種スポーツ競技や美術展、音楽文化祭などの文化イベントや健康福祉機器展、子どもフェスティバルなど、あらゆる世代の人たちが楽しめる総合的な祭典です。

ねんりんピックは健康及び福祉に関し、積極的かつ総合的な普及啓発活動を通じて、高齢者を中心とする国民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与することを目的として、厚生省(現:厚生労働省)創立50周年を記念して昭和63(1988)年にスタートし、毎年開催されています。



全国健康福祉祭(ねんりんピック)ロゴマーク

老いも若きも仲よく、ともに生きていく社会をふたりの人物で表しています。また、2つの円は、その組み合わせにより、お互いに助け合い、健康と福祉の輪が未来に向かって広がっていくことを意味しています。

本県でも高齢者の社会参画、健康、生きがいづくりを支援するため、全国健康福祉祭(ねんりんピック)へ選手団を派遣するとともに、スポーツや文化活動の成果を発表する「ゆめかながわシニアフェスタ」等を実施します。また、平成33年度には本県で全国健康福祉祭が開催される予定となっており、開催成功に向けて準備を行います。(2,055万円)

たかはし栄一郎 県政報告会開催中!

ご近所やお友達など少人数で集まって、お茶を飲みながら高橋栄一郎とお話しませんか? 県での出来事などもお話しさせていただきながら、皆様のご要望にお応えできればと思います。ぜひ皆様のお話を聞かせてください。5人程度からでも伺います。機会を設けてくださる方は事務所までぜひご連絡ください♪



<「ともに生きる社会かながわ憲章」の実現に向けた取り組み>

ともに生きる

翔子



この悲しみを力に、ともに生きる社会を実現します

題字「ともに生きる」
ダウン症の女流書家 金澤翔子

平成28年10月14日に策定した「ともに生きる社会かながわ憲章」を踏まえ、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現し、障がい者の社会への参加を妨げる偏見や差別の排除に取り組むとともに、事件の再発防止に向けた対策を推進します。また、津久井やまゆり園の再生に向けて除却工事の実施設計や必要となる各種調査等を行います。(2億907万円)

重点的な取り組み②安全・安心

<災害時応急体制の整備>

災害時に迅速かつ的確な応急対策活動を行うため、厚木市下津古久にある消防学校における消防訓練機能の充実・強化を図ります。

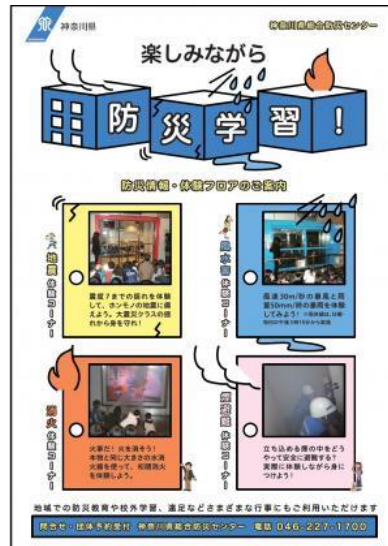


また、被害状況を把握する通信手段の整備、災害対策本部機能の確保等を進めます。(31億8,632万円)

<広域応援体制等の拡充、防災知識の普及、防災訓練の実施等>

東日本大震災の経験を踏まえ、平成25年4月1日に施行された地震災害対策推進条例に基づく自助・共助の取組みを一層推進すると共に、中長期を見据えた減災戦略を進め、県民の生命、身体及び財産を守るため災害に強いかながわを作ります。具体的には「かながわ消防」のスタートや、近年の災害の多様化、大規模化に対応するため、様々な自然災害現場の再現が可能な消防訓練施設を新設するなど、消防学校をオール神奈川の実践的トレーニングセンターとして整備します。

また、防災関係機関相互の連携体制を確保するため、協定締結や必要資機材等の整備を進めます。県内全世帯・事業所への防災啓発ブックの配布や、厚木市下津古久の総合防災センターにおける地震、津波、火山災害の臨場感



ある体験施設の整備や防災教育機能の充実・強化などを通じた県民への防災知識の普及啓発、自主防災組織リーダー等への教育・訓練プログラムの充実を図ります。大規模地震災害発生を想定した広域的応援の訓練を実施します。(20億1,847万円)

かながわ消防(神奈川県消防広域運用調整本部)

大規模災害時に、知事を本部長として設置し、事前登録された政令3市をはじめ県内各消防本部の応援部隊(神奈川県消防広域応援隊)が、一元的に連携して迅速かつ的確な消防活動を行う体制。

重点的な取り組み③経済のエンジン

<商店街魅力アップ事業費補助>

ラグビーワールドカップ2019™及び東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、インバウンドを含めた集客力の強化を図るため、商店街が自らの魅力を高めるために行う事業に対して補助します。(4,000万円)



重点的な取り組み④ひとのチカラ

<幼児期の教育・保育の提供体制の確保・充実等>

従来は年2回実施の保育士試験を、国家戦略特区を活用した県独自の地域限定保育士試験を3回目として実施し、県内の保育士確保を図ります。(5,512万円)また、病気や病後の児童を保護者が家庭で保育できない場合に、病院・保育等の付設スペースで預かるための施設整備や事業に取り組む市町村に対して補助します。(1億9,819万円)



「県内どこでも『待機児童ゼロ』」の達成に向けて、保育士をはじめとする子育て支援人材の確保・育成や、保育所整備など待機児童対策の一層の推進に取り組むとともに、幼児期の教育・保育の提供体制の確保・充実等に取り組む市町村等を支援します。

<生活困窮世帯の子供の健全育成事業等>

子供の将来が生まれ育った環境に左右されないよう、子供の貧困対策に取り組むほか、心理、医療等の専門的ケアを行う施設を開設し、様々な課題を抱える子どもを支援します。

生活困窮世帯の子供の健全育成のため、保健福祉事務所に子ども支援員を配置し、家庭訪問や個別相談などを行うと共に、家庭学習を補完する学習の場や安心して過ごせる居場所を運営する事業を行います。また「里親センター」に養子縁組対応専門員を配置し、相談体制を整備するとともに、児童養護施設退所児童などを支援する「あすなろサポートステーション」に就労支援コーディネーターを配置するほか、児童養護施設職員などが施設間交流研修を行う際の支援もすすめます。(6,319万円)

このほか、「人生100歳時代」に向けた取り組みや、農業・水産業の活性化と鳥獣被害対策などさまざまな事業予算が計上されました。今年度の予算が、今後の5年後10年後の神奈川県を作る礎となるのは、いうまでもなく、自治体として持続可能な社会を構築していくためにも大変重要な予算と言えます。

政令市である横浜市に住んでいると、神奈川県予算の使われ方はなかなか身近に感じにくいかもしれませんが、今後も適切な予算執行を見守ってくとともに、折に触れ皆様にもなるべく分かりやすくご紹介していきたいと思ひます。

「たかはし栄一郎」県政レポート 配布ボランティアを募集しています！

①たかはし栄一郎の県政レポートをご近所等にごポスト
配布して下さるボランティアの方

②広報掲示板をご自宅等に設置して下さる方
(大きさ:90cm×90cm)

* **ご協力頂ける方がいらっしゃいましたら
事務所までご連絡ください**



県政に対する皆様のご要望を
お待ちしております!!

↓ご意見ご要望はこちらまで↓

たかはし栄一郎事務所

TEL:045-337-1234

FAX:045-337-1243

✉ takahashi.eiichirou@sky.plala.or.jp